

事業所における自己評価の結果（公表）

それいゆ・すてっぷ（放デイ）

		チェック項目	工夫している点 課題や改善すべき点等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	活動や人数に応じて使用する部屋を変えています。同じ活動でも集中しやすいように分かれて活動するときもあります。	
	2	職員の配置数は適切であるか	利用者の方の発達や状態、活動内容に応じて職員配置を決めています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	階段では交互通行にならないよう、職員同士で声を掛け合い回避するようにしています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	職員間で共通認識を持つために話し合いを行ったり、参加出来ない職員には書面で知らせる等しています。	
	5	保護者等向けの評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	必要に応じて行っています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	今後公開する予定です。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価をおこなっていません。	今後は第三者による外部評価を行うよう検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部・内部の研修を行っています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	半年に1回の個別支援計画についての面談や必要に応じて訪問を行ったり、担当者会議に出席しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	現在は活用していません。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	行っています。	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日では見られない小さなつまづきを、長期休暇で見出し、繰り返し取り組む中で、普段の生活にも生かせるように支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	確認しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	判断しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	利用者様の状況に合わせて支援を行っています。	
関係機関や保	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	参画しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	送迎時間の変更については、保護者様からの連絡を反映させています。子どもの状況については送迎時に様子を聞き取り、全職員に周知しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医と連絡体制を整えている	・対象児が在籍していない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	利用前に見学や情報の聞き取りを行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・対象児が在籍していない。	

護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	直接かかわることはありませんが、研修等があれば参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	地域のお祭りに参加したり、散歩中に進んで挨拶する等の機会を設けています。	
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	法人として関わりがあります。	
	28	日頃から子ども状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	活動ノートのやり取りや、送迎時電話などで直接職員が話をして対応しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングは行っていません。	定期的に保護者交流会を行っているのですが、その中でペアレントトレーニング支援を行うようにする。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	利用前には必ず説明をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	常時行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者交流会、学習会、ボランティアの会等、定期的に開催しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	発信しています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	注意しています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	・マニュアルの策定はされているが、保護者に周知はされていない。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	曜日を変え、どの利用者様にも経験して頂けるよう、工夫しながら定期的に行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止チェックを活用し、対応しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・対象児が在籍していない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・ヒヤリハットを職員全体で共有はしているが、事例集は作成していない。	今後は事例集を作成する。